



私は、行動します。

### もっと朝霞市を変えたい

私は地域福祉計画策定の市民委員として、朝霞市のさまざまな福祉資源を調査したり、福祉を必要とする人の声をお聴きしてきました。

労働組合の職員として、解雇や、職場の事業譲渡などで環境が激変した人の話を聴き、一緒にたたかってきました。

困ったところに立たされた人の状況を市政を通じて言い、市民のさまざまな力を活かして安心の朝霞市に変えていく役割を感じています。

ひとりひとりの力を引き出し、いつまでも安心できる朝霞市にするために市役所や市議会を変えたい。

使命感をもって私は行動します。

黒川 滋

### PROFILE .....

- 1970年生、本町2丁目で育つ。根岸幼稚園、朝霞第六小、第一中、自由の森学園高校、札幌学院大学商学部経済学科卒業
- 1993年 紙・文具卸「大丸藤井」入社
- 1996年 札幌市議会にて交通料金改定の市民参考人として意見陳述
- 1998年 札幌市から朝霞市に戻り、自治労中央本部に勤務。保育園政策や自治体のパート労働問題に取り組む
- 2004年 国会議員政策担当秘書資格取得
- 2004～2005年 公募市民委員として朝霞市の地域福祉計画(前期)の策定作業に中心的に携わる
- 2010年～ マンション管理組合理事長に就任。修繕工事の透明化に努める

現在、朝霞市三原に11年在住。  
3児の父親として仕事と子育ての両立で奔走中。  
2004年と2006年に6カ月の育児休業取得。



国家公務員宿舎建設に  
ずっと反対してきました！

無所属  
41歳

# くろかわしげる

## みんなの安心感を 朝霞市でつくる



不安の多い時代を乗り越えていくためには自治体や市民どうしの助け合いの力が必要です。しかし朝霞市は市民どうしの友人が少ない人が多く、自治体がひとがんばりしないと安心できる地域社会はできません。私は市民の安心のために朝霞市を変えていくことに力を注ぎたいと思っています。



今、多くの方が、仕事や住むところがいつなくなるかわからない不安感を持っています。

人々に不安がなくなり、一人ひとりが力を発揮し、幸せになるために、みんなが頑張れるようになる社会が私の理想です。

安心と納得のあるお産、保育園の充実、思い切って遊べる環境、コンビニ以外の中高生の居場所、永住できるマンション、放射能の不安の解消、市民どうしのつながりの強化、身体が思

うように動けなくなったときの助け、往診や在宅医療の実現、死に近づいたときの看護、死後の葬送や財産分与など、お金で解決できない不安の解消は自治体がプロデュースする仕事です。

外交や安全保障の議論に比べると地味なテーマですが、安心感のために大切な仕事。朝霞市民の安心のための市役所に変えたい、私の政治活動への思いです。

### 働く人の立場で、福祉の力で、朝霞市を変えたい。

# PRESS KUROKAWA

くろかわしげる後援会会報 vol.3 福祉政策特集

発行：くろかわしげる後援会 朝霞市三原 3-31-9-404  
TEL：090-2747-5232 kurokawa@post.nifty.jp  
<http://kurokawashigeru.air-nifty.com/>



討議資料